



「自分たちの街、自分たちの手で」

シモティ代表
山口 貴明



シモティ代表
建築設計事務所主宰
山口さん
に伺いました



しもつけマーケットを企画運営するシモティは、地域活性化を目的としたサークルです。

市外より転入してきたママが、子育てを通じ、子どもたちの生まれ故郷となるこの街にもっと根ざして行きたいとの思いから始まったのがきっかけです。

自分たちが住む街を、自分たちが住みよく、楽しい街にしたいという想いにより、自分たちで出来ることからやってみようと、同年代の子どもを持つ同地区のパパ・ママが自然と集まりました。自他共に認められる、住みやすい下野市ですが、「子どもが安心して遊べる場所が欲しい。子連れでいけるお洒落なお店が欲しい。」など、課題はどんどん出てきます。いわゆるママ友の会話の中からです。

それらの課題を、自分の街で叶える方法のひとつとして企画されたのが、「しもつけマーケット」です。今は年に一度のイベントですが、このイベントをきっかけに、地域に魅力的な店舗が増えたり、同じように魅力あるイベントが生まれたりすることはもちろん、なによりも、子ども達が自分の住む街は楽しいと誇りを持てるようになれば良いと思っています。生活スタイルの多様化や負担過多を懸念して、地域組織(自治会・育成会等)への参加は減少傾向にありますが、震災以降、絆という名のもと、人が支え合うことの大切さを再認識する傾向にあると感じます。その想いをもちつつ、あらためて地域を見つめ直し、地域に根ざしていくコミュニティが生まれ、つながっていくことが、結果として地域の活性化につながるとしています。

らいさまNEWS

有料広告の募集

「らいさま」に広告を掲載してみませんか？
掲載料は1万円から。規格は広告に準じます。

下野市自治基本条例が施行され2年が経とうとしています。市民活動補助事業を活用して、自発的なまちづくりに取り組んでみませんか。補助制度の中にトライコースがあり、こちらは、最長11月末まで募集します。詳しくは広報2月号を参照ください。また今回とりあげたコミュニティに限らず積極的に取り組んでいるコミュニティの情報をお待ちしています。3月26日は、市制10周年式典及び新庁舎の内覧会(午後から)が予定されています。(新庁舎での各課電話番号は行政カレンダーに載っています。)



編集後記

「まつり」という一つの目的に向かって力を合わせていく中で、初めは生みの苦しみがあったと思いますが、コミュニティが醸成され深化していくことを取材の中で強く感じました。

例年、多くの人たちが協働のもと予算をかけて、大変な思いをしての「まつり」。終わった後の達成感から地域をつくっているという実感も伝わってきました。

「まつり」など不要と語る方もおられると思いますが、災害時など、まつりで醸成されたコミュニティが共助の場で大きな役割を担いました。それは東日本大震災の時、孤立した集落の方々がコミュニティの共助で約一週間公助が機能するまで助け合い生き延びたことです。コミュニティとは何か、皆さん、もう一度考えて行動してみましょう。

(編集委員 KU・RO・SU)



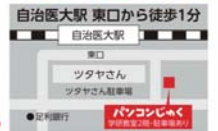
初心者のための教室です！シニアや主婦も安心して楽しく学べます

パソコン・タブレット・スマートフォン教室

☎0285-40-1191
下野市医大前3-2-13



- スマートフォン購入前相談●
- Windows10書換えサポート●
- 新社会人&大学生 短期集中レッスン●



市制10周年記念旗

【表紙】エコライフまつり(祇園原公園)

広告